

黒川病院は 子供から高齢者まで すべての方のための 精神科病院です

## 病院理念

私たちは地域の方々に愛され、  
安心して利用できる病院をめざします。

## 基本方針

1. 地域医療のニーズにこたえる
2. 温もりのある医療サービスを提供する
3. チーム医療の充実を図る



院長 関野 敏

3月11日に発生した東日本大震災におきまして、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

当院の広報誌「くろかわらばん」は創刊より2年が経過致しました。この間、毎号が楽しみとお声もいただき、広報委員にとりましても内容の充実に向け、大変励みになっております。ご愛読誠にありがとうございます。

この間、当院では、診療面で大きな変化・取り組みがありました。三つほどご案内申し上げます。

そのひとつは、一病棟を急性期治療病棟という診療形態への転換です。これは、とりわけ発病あるいは再発の急性期の早い時点で加療を施し、早期に在宅生活が可能と思われる方のための、チーム医療を重視したいわば短期集中型ともいべき治療内容です。3か月以内を目標に致します。日常生活技能の低下をそこなうことなく地域で生活するということが理想であるわけですし、近年、退院促進という国の方針にも沿うものであります。医師や看護師はもちろん精神科作業療法士や臨床心理士、薬剤師、精神保健福祉士、ときには管理栄養士などいわゆるコ・メディカルスタッフ総出で連携し医療に当たります。

つぎは、当院の地域生活支援課が取り組む精神科訪問看護も広範囲となり、新発田地区から村上地区に及んでおります。特に退院された方でも、日常生活にやや不安があるとか自信がない方のため、訪問回数等を検討、話し合いの上、看護師・ソーシャルワーカー・作業療法士が家庭訪問し、いろいろの角度からご本人またはご家族も含め支援を行う活動です。これにより、極力再発を抑止するという効果が期待されます。

また、通院中の方で社会生活上何らかの支障のある方を対象に、前向きにあるいはブラブラ生活にならぬようデイケアを実施してきました。最近ではメニューにも工夫をこらし、利用者が年齢を問わず増えてまいりました。退院したばかりのひとり生活者の方々には、デイケアだけでなく時間を延長し夕食後もくつろげるデイナイトケアも開始したところです。その他の方々のご利用については今後の課題と考えております。 次ページへ

さらに、認知症疾患医療センターでは、認知症なのかどうかという鑑別診断を行っております。又、すでに認知症の治療中であっても、困った行動障害（認知症の周辺症状と言います）が表面化し、どうしたらよいかと相談に来られる方、かかりつけの先生や各地の支援センターから紹介されて来られる方等いろいろいらっしゃいます。行動障害に困る前に、認知症かと疑われたら迷わず早めにご相談ください。まず、かかりつけの先生にご相談されてもよろしいですし、市町村の保健師さんあるいは各地の支援センターのケアマネジャーさんでも良いと思います。当センターでは精神科相談員が丁寧にお話を伺い、診察が必要となりますと当院の予約となります。現在予約はおよそ3週間待ちという状況ですが、お待たせしないよう努力しているところであります。

今後も、この紙面にて各専門スタッフより、適宜お役に立つ情報をご紹介しますと参りたいと思います。

## お知らせ

当院には、東日本大震災におきまして被災された病院より1名の方が転院されておられます。

震災より3ヶ月余りが過ぎましたが、当院へ福島県知事よりお礼のお手紙が届きましたので、ご紹介させていただきます。

謹啓  
向著の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

東日本大震災から3か月余りとなりました。福島県は、地震と津波で多くの尊い命、財産を失い、さらに原発の事故、風評被害をかえした「四重苦」が現在も続いています。こうした中、県民が一丸となって必死にこの難局に立ち向かっています。

貴院におかれましては、これまでの間、転院患者受け入れ等、様々な面で多大な御支援をいただき、福島県民を代表して心から御礼申し上げます。おかげさまで、県民も少しずつ元気を取り戻し、経済活動でも農産物の出荷制限解除や企業の稼働再開など、明るい話題も増えてまいりました。復旧、復興には長い時間が必要になるかもしれませんが、「新生ふくしま」に向け、一步一步力強く、粘り強く歩んでまいります。今後とも御理解と御支援をお願いいたします。

このたびの温かい御厚情に対し、略儀ながら書中をもって御礼申し上げますとともに、貴院のますますの御発展をお祈り申し上げます。

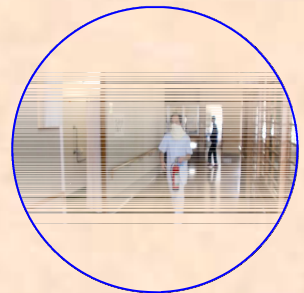
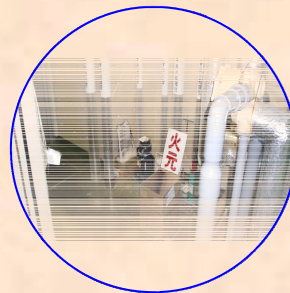
敬 具

関野 敏 様

平成23年6月 福島県知事 佐藤 雄平

当院では、5月25日に消防法における避難訓練および消火器の使い方の講習が行われました。

介護老人保健施設やまぼうしで出火想定で行われ、ケガなども無く無事終了いたしました。



4月5・6・7日に採用者研修を開催し、昨年度途中採用者、今年度新採用者含め計9名の方が参加いたしました。実地研修も行われ、普段とは違う部署での研修で大変勉強になったとの感想をいただきました。

- 4月5日 概要説明、個人情報保護法  
オリエンテーション
- 4月6日 接遇研修、各委員会説明  
精神保健福祉法、介護保険法  
実地研修
- 4月7日 実地研修、各疾患に関する研修



## 認知症疾患医療センターからのお知らせ (黒川病院内)

認知症疾患医療センターでは、認知症の疑いやそれに伴う様々な問題について、医療相談に応じます。治療・診断のみならず、必要に応じ、医療・保健・福祉の関係機関と連携し、認知症の方々が安心して地域で生活できるよう助言・指導を行います。経過とともに変化しつつある行動・心理症状への対応についても助言・指導を行ないます。

また、認知症の予防・早期発見のため、地域・住民の方々や関係機関向けの研修会も開催しています。

こういう事が1つでも当てはまったら、早めにご相談ください

同じ事を何度も繰り返し聞いたり話すようになってきた  
最近物忘れ(財布のしまい忘れ等)が目立ってきた  
日常の簡単なことができなくなってきた  
自分の家やトイレがわからなくなってきた  
人柄がかわってきた

これらの症状は認知症でよくみられますが、それ以外の病気(頭部外傷、うつ病など)でも出る場合がありますので、正確な診断が必要です。

専用電話がございますので、お気軽にお問い合わせください。

月曜～金曜 午前9：00から午後5：00まで

専用電話

0254-47-2640



認知症疾患医療センター主催で院内研修を開催いたしました。認知症疾患医療センターの概要、バリデーション、心理療法について行われ、多くの職員が参加しました。

## ～ 外来診療のご案内 ～

診療科：精神科 内科 歯科  
 診療日：月～金、土（第1・第3）  
 休診日：土・日・祝祭日  
 受付時間：午前8時30分から午前11時まで  
 診療時間：午前9時から（診療は午前のみ）  
 もの忘れ外来、児童外来を受け付けています。  
**外来診療は予約制です。**

・ ・ ・ 精神科 担当医 ・ ・ ・					
月	火	水	木	金	土
宮本	関野	小熊	関野	関野	(関野・松井・宮本)
松井	松井	(稲月)	松井	宮本	
小熊	(稲月)			稲月	
				小熊	
・ ・ ・ 内科 担当医 ・ ・ ・					
	吉田				

**出張等により休診となる場合がございます。**  
 は第1・3土曜のみです。

**初めての方（精神科）の予約に関して 医療に関する事や年金、制度の件**

上記のことで、お困りの事がございましたら、相談を受け付けております。  
 窓口、相談員へお問い合わせください。☎0254-47-2422まで

**初めての方の予約は9時から16時までとなっております。**

### お願い

月に1度、保険証を窓口へお見せください。

- ・健康保険証
- ・後期高齢者医療被保険者証
- ・限度額認定証

変更がありましたらすぐにご連絡ください。

請求書は毎月15日前後に郵送しておりますので月末までにお支払いください。

医療法人 白日会 黒川病院  
 〒959-2805  
 新潟県胎内市下館字大開1522番地  
 TEL0254-47-2422 FAX0254-47-3181  
<http://www8.ocn.ne.jp/~k-hosp/>

作成：黒川病院 広報委員会

### －編集後記－

第6号発行より期間が空いてしまいましたが、今後も定期的に発行して参りますのでよろしく  
 お願い致します。